

事業報告書

1 支援団体名	ななせ交流会
2 事業名称	川といっしょに in のつはる「ダムのある里づくり」
3 実施日時	平成29年4月から平成30年3月
4 実施場所	七瀬川流域・大分川ダム周辺
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 毎月定例会を開催して活動の方向を討議して決定している。 河川敷の整備と合わせて河川の清掃を毎月第一日曜日に取り組んでいる。子供達が川原で一番したいこと親子で B.B.Q 大会を企画して石炉を作り火起こしからコミュニケーションを深めてもらう。また安心して近づける河川敷を提供している。本年は川流れを体験して川に入り、投網などを実施してもらい川の存在を満喫していた。「ちっちゃな花火大会」は地域の人から待たれるようになったし、協賛金の協力も多く得られた。石ころアート教室も隣の地区の学校行事に依頼を受けて七瀬川の清流をアピールできた。水質検査も続けて10ヶ所の水を検査している。清流であることを知らせる機会を検討している。主な活動としてダムサイトの植樹を企画して進めている。植木会社の社長を講師に植樹についての学習会また、大々的に桜祭りを展開している先進地視察研修にて生育や組織づくりを学習した。 (事業実施効果) 河川の清掃、B.B.Q 大会、花火大会、各事業とも地域住民にななせ交流会の名前と一緒に年中行事として地位を確立出来たとおもう。この地区の七瀬川の清流の存在が少しずつみんなが再認識する機会になったと思う。ダムサイトの植樹も記念樹としてとりくみ、関心を寄せてもらいダムの存在も広い範囲で広報できている。
6 参加内訳	(1) 主催者参加 42 名
	(2) 日本人参加 ((1) を除く) 400 名
	(3) 外国人参加 ((1) を除く) 10 名
7 今後の方針	河川の清掃、河川敷の整備を続けていく事が住民に河川の存在や自然環境の保全を考えるきっかけになると思う。また完成したダムについて無関心層が多い中、地域の活性化の起爆剤になり得る事を広くアピールして活動を展開していく。

毎月の定例会、毎月の河川の清掃を
コースに分かれて続けている
毎回のゴミには驚き



先進地視察研修は新しい活動のヒントを
得られる



今年度は川流れ、投網の実演とB.B.Q 大会も
花火大会もたくさんの参加者がありました。



葛や石を取り除き、ここに桜を植えます。



疲れたけれど、時々会いに来て大事に育てたい



雨や風に負けないように早く花も咲きますように

